

第 I 章 安全と安心、社会のリスク

1. 危険を眺める

危険は増大しているのか？
身の回り（暮らし、生活環境）の安全
危険(安全性)の移り変わり

2. 自然災害と人的災害

自然事象(自然災害)
人的災害（安全を脅かす危険は「自然」から「自然と人工物の複合体」になった）
社会システム起因
地球環境問題
故意による災害

3. 安全と安心*

平和 <=> 戦時
安全 <=> 危険

個人の安全と社会(コミュニティ)の安全
共同体の安全とアウトサイダーの存在
グローバル化と安全性

4. 安全を考える観点*

個人と社会
許容度とコスト
機能の外部化 都市化、ライフライン、教育、治安対策

参考文献

- * 村上陽一郎「安全学」青土社 1998 年
- 「安全学の現在」青土社 2003 年
- 「安全と安心の科学」集英社新書 2005 年